

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) など本文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) など表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

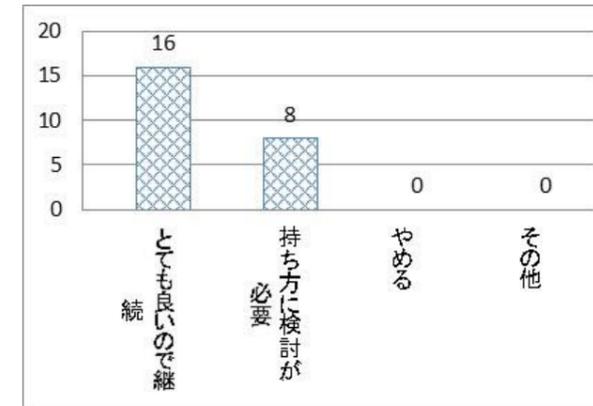
No. D-96

部門名: 校内研修	エントリー名: 高松市立屋島西小学校 六車健太 平成 30 年度第 1 回次世代リーダー育成研修
活動名: 校内授業研究を活性化するためのしかけと運営方法の改善	
解決すべき課題: 本校では校内での公開授業が 6～7 本行われている。しかし、授業構想などについて職員が話し合う事前研修会が各授業で 1 回 1 時間程度、授業後の研究討議が 1 回のみ設定されているだけであった。そのため、授業者の意図をくみ取らないまま授業を参観したり、討議を行うような状況が続いていた。また、各学年団単位での連携は行われているが、そのほかの教員とは、授業等について話し合うような様子は見られないような状況であった。そこで、全教職員が授業づくりに前向きに取り組み、教員間の縦と横のつながりを密にしていかなければならないと考えた。	
目標・方針: ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。 担当学年等を問わず、教職員同士が思いや悩みを話し合える場を設定する。授業づくりを通して話し合うことで、教員間の話す機会を増やすとともに一人一人の教授技術等の向上も目指す。	
活動内容: ※目標・方針に基づいてどのような活動を行ったか、また、複数の活動を展開した場合はその位置づけや関連性を記載してください 全体での事前研修以外に自主研修という形で、授業づくりについて話し合う機会を設ける。自主研修には希望者のみの参加とした。 授業後の討議会では、全教職員を意図なグループに編成した。(年齢・経験年数等が均等になるように編成する。若年グループ・中堅グループ・ベテラングループに編成する。)	
活動の成果: ※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。 自主研修についてのアンケートより 「全体会よりも細かいところまで意見が聞けるので継続してほしい。」「全体会よりも、ざっくばらんに意見を出すことができた。」「分からないこと等を質問しやすかった。」「次期によって忙しさが異なるので、自主研修という形は負担軽減につながった。」「授業者の希望に合わせて回数を変えるなど、協力体制ができておりよかった。」 学年団の枠を超えた討議グループの編成についてアンケート結果より 「いろいろな(普段は関わりの少ない、あまり話すことのできない)人の話が聞けて良かった。」「毎回いろいろな話が聞けておもしろい。」「いろいろな人と協議できた方が見方が広がる。」「学年団の構成人数が少なくなっているので、様々なグループはよかった。」「グループが変わることで新鮮だった。」「若手にも役割が与えられることで、経験を積めた。」「校内研で経験したことで校外の研修でも発言できるようになった。」 このように肯定的なコメントが多く、次年度(令和元年度)も継続して行うことにした。	
アピールポイント(アイデアや工夫): ※3～5 つ程度、箇条書きしてください 自主研修に参加することで、授業づくりに対する意識の向上。 意図的にグルーピングによる話し合いの活性化。 教員同士が互いを認め合う風土の醸成。 日常的な教職員の関わりの増加。深化。	

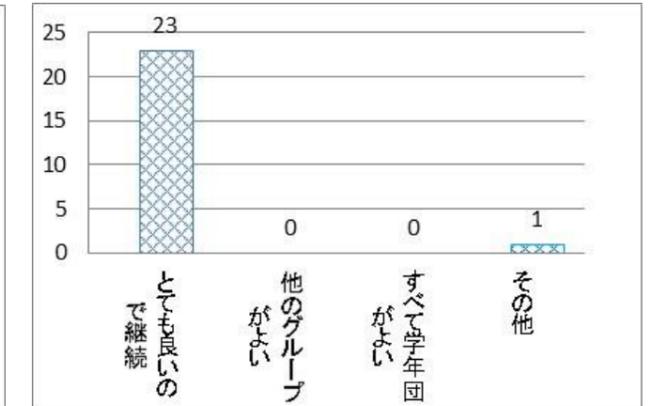
<写真、図表添付欄>

校内研修 4 回終了後、教職員へのアンケート結果

自主研という形での、事前研について



学年団の枠を超えた、討議グループについて



学年団の枠を超えたグループによる討議会の様子

